



2023年3月期 第1四半期 連結決算概況と通期業績見通し

免責事項

- 本資料のうち、業績見通しなどは、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定な要素および今後の事業運営や内外の状況変化などによる変動可能性に照らし、実際の業績などが目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料内に、医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれていますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。また、あくまでも当社の技術開発の一例としてご紹介するものであり、将来の販売をお約束するものではありません。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

第1四半期実績

- ☑ 期初時点で懸念材料とした複数のリスクを最少化し、売上高・営業利益を伸長
 - 売上高：連結で+12%成長。医療分野は第1四半期として過去最高の売上高
内視鏡・治療機器事業ともに2桁成長を達成
 - 営業利益：第1四半期の営業利益は、額・率ともに過去最高*

通期業績見通し

- ☑ 期初の見通しから為替を除いて据え置き。為替前提の見直しにより、売上高およびすべての段階利益を上方修正
 - 売上高：前回見通しから5%増の1兆190億円、医療分野は過去最高となる見込み
 - 営業利益：経営戦略で掲げた調整後営業利益率20%超を見込む
 - 当期利益**：過去最高の1,720億円、EPSは前期比50%増の135円となる見通し

*四半期報告書の開示を開始した2009年3月期から **親会社の所有者に帰属する当期利益。2016年3月期までは日本基準、2017年3月期以降はIFRS

01

**2023年3月期 第1四半期
連結業績および事業概況**

2023年3月期 第1四半期実績 ①連結業績概況

☑ 連結業績概況 : 売上高は連結で+12%成長、営業利益は額・率ともに過去最高*

☑ 社内計画比 : 上海ロックダウンなど市場環境は厳しかったものの、期初に織り込み済みであり、第1四半期として概ね計画通りの進捗

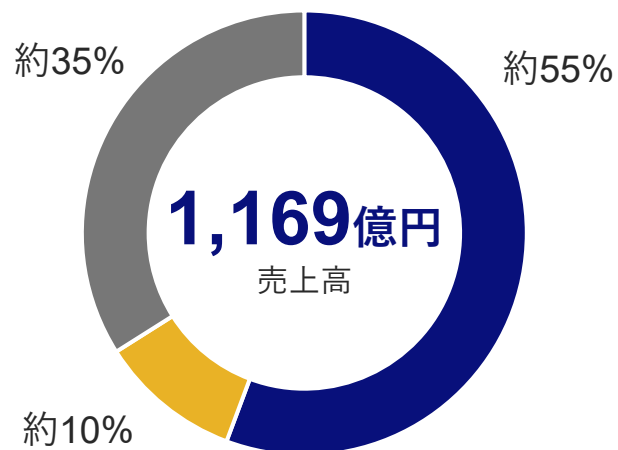
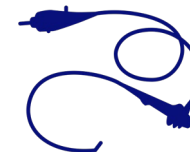
第1四半期実績 (4-6月)

(単位：億円)	FY2022	FY2023	FY2022比	為替除きFY2022比
売上高	1,915	2,141	+12%	0%
売上総利益 (売上総利益率)	1,233 (64.4%)	1,372 (64.1%)	+11%	▲2%
販管費 (販管費率)	958 (50.0%)	1,089 (50.9%)	+14%	+5%
その他の損益など	1	125	-	-
営業利益 (営業利益率)	276 (14.4%)	408 (19.1%)	+48%	+18%
調整後営業利益 (調整後営業利益率)	276 (14.4%)	283 (13.2%)	+3%	
税引前利益 (税引前利益率)	270 (14.1%)	382 (17.9%)	+42%	
当期利益** (当期利益率)	187 (9.8%)	249 (11.6%)	+33%	
EPS	15円	20円		
円/USドル	109円	130円		
円/Euro	132円	138円		
円/CNY	17円	20円		

*四半期報告書の開示を開始した2009年3月期から

**親会社の所有者に帰属する当期利益

2023年3月期 第1四半期実績 ②内視鏡事業



	FY2022	FY2023
(単位: 億円)	1Q	1Q
売上高	1,000	1,169
営業利益	227	248
その他の損益*	▲22	▲12
営業利益率 (為替影響調整後)	22.7%	21.3% (18.3%)

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

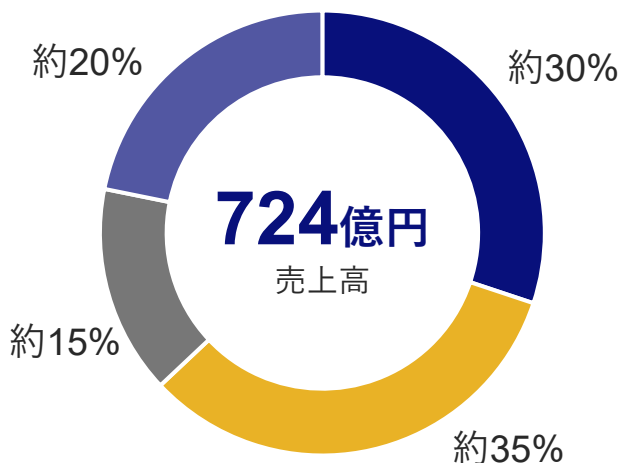
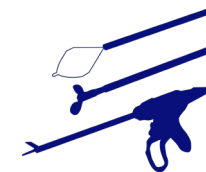
FY2023 vs FY2022 (4-6月) 売上高成長率

円ベース

為替影響
調整後

	円ベース		為替影響 調整後
■ 消化器内視鏡	18%	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い行動制限が実施された中国を除く全ての地域でプラス成長。「EVIS X1」シリーズの販売が堅調に推移していることに加え、前世代のスコープなども増収に寄与。また、円安効果が大きい北米も増収に貢献 	5%
■ 外科内視鏡	11%	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い行動制限が実施された中国を除く全ての地域でプラス成長。外科内視鏡システム「VISERA ELITE II」の販売が好調に推移した欧州で売上が増加。また、円安効果が大きい北米も増収に貢献 	▲1%
■ 医療サービス	17%	<ul style="list-style-type: none"> 保守サービスを含む既存のサービス契約の安定的な売上や、新規契約の増加もあり、全ての地域でプラス成長 	5%
合計	17%		5%

2023年3月期 第1四半期実績 ③治療機器事業



	FY2023	
	1Q	1Q
(単位: 億円)		
売上高	636	724
営業利益	141	134
その他の損益*	25	▲2
営業利益率 (為替影響調整後)	22.1%	18.5% (16.5%)

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値/**FY2023より、治療機器事業のその他の治療領域に分類していた婦人科製品について、治療機器事業の泌尿器科に含めています。FY2022の実績も同様に組替え済

FY2023 vs FY2022 (4-6月)

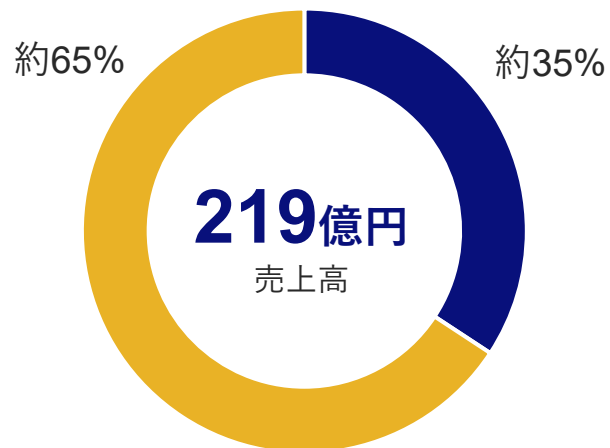
売上高成長率

円ベース

為替影響調整後

■ 消化器科 (処置具)	14%	<ul style="list-style-type: none"> 全ての地域・製品群でプラス成長。特に、症例数が増加している北米と欧州で好調に推移。ERCP、サンプリング（生検鉗子等）、ESD・EMR用の製品群の売上が拡大 	5%
■ 泌尿器科**	18%	<ul style="list-style-type: none"> 症例数の回復が進み、特に北米と欧州で好調に推移。BPH用の切除用電極と尿路結石用破碎装置「SOLTIVE SuperPulsed Laser System」の拡販が奏功 	4%
■ 呼吸器科	7%	<ul style="list-style-type: none"> 症例数が増加している欧州で好調に推移。また、円安効果が大きい北米も増収に貢献。EBUS-TBNA(超音波気管支鏡ガイド下針生検)で主に使われる処置具が好調に推移。 	▲5%
■ その他の治療領域	12%	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーデバイスが好調に推移。特に「THUNDERBEAT」の売上が寄与 	2%
合計	14%		2%

2023年3月期 第1四半期実績 ④科学事業



	FY2022	FY2023
(単位: 億円)	1Q	1Q
売上高	248	219
営業損益	19	▲16
その他の損益*	▲2	▲2
営業利益率 (為替影響調整後)	7.5%	-

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

FY2023 vs FY2022 (4-6月)

売上高成長率

円ベース

為替影響
調整後

■ ライフサイエンス	▲17%	<ul style="list-style-type: none"> 研究所、大学での予算執行が堅調に推移しているものの、半導体等の部品不足による納期の長期化の影響や中国において新型コロナウイルスの感染拡大に伴い行動制限が実施されたこともあり、減収 	▲26%
■ 産業	▲9%	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の設備投資状況は引き続き改善傾向が続いているものの、半導体等の部品不足による納期の長期化の影響や中国において新型コロナウイルスの感染拡大に伴い行動制限が実施されたこともあり、減収 	▲19%
合計	▲12%		▲21%

財政状態計算書

☑ 為替の影響により、バランスシート全体が増加

(単位：億円)	2022年3月末	2022年6月末	増減額
流動資産	6,946	7,231	+285
棚卸資産	1,674	1,869	+195
非流動資産	6,634	7,104	+470
有形固定資産	2,471	2,593	+121
無形資産・その他	2,518	2,689	+171
のれん	1,645	1,822	+177
資産合計	13,580	14,335	+755

	2022年3月末	2022年6月末	増減額
流動負債	3,763	3,629	▲134
社債および借入金	523	536	+14
非流動負債	4,704	4,885	+181
社債および借入金	3,338	3,412	+73
資本	5,114	5,822	+708
自己資本比率	37.6%	40.5%	+2.9pt
負債および資本合計	13,580	14,335	+755

連結キャッシュフロー計算書

- ☑ FCF： 法人税の支払いなどにより、217億円のマイナス。特殊要因を考慮すると、調整後FCFは203億円のマイナス
- ☑ 財務CF： 配当金支払を主要因に、217億円のマイナス

第1四半期実績（4-6月）

（単位：億円）

	2022年3月期	2023年3月期	増減
税引前利益	270	382	+113
営業キャッシュフロー	237	▲269	▲505
投資キャッシュフロー	▲335	52	+387
フリーキャッシュフロー	▲98	▲217	▲118
調整後フリーキャッシュフロー	203	▲203	▲406
財務キャッシュフロー	▲390	▲217	172
現金および現金同等物期末残高	1,687	2,864	+1,177

2022年3月期第1四半期（4-6月）の主な特殊要因

営業CF：社外転進支援制度の引当取崩	88億円
投資CF：事業・子会社等の取得	213億円

2023年3月期第1四半期（4-6月）の主な特殊要因

営業CF：科学事業再編に伴う税金支出	178億円
投資CF：固定資産（土地）の売却による収入	191億円
投資CF：エビデントの事業開始に伴う投資・一時的な資金負担	27億円

02

2023年3月期 通期業績見通し

通期業績見通し ①連結業績

☑ 期初の見通しから為替を除いて据え置き。為替前提の見直しにより、売上高およびすべての段階利益を上方修正

- 1** 売上高： 前回見通しから5%増の1兆190億円を見込む
- 2** 営業利益： 経営戦略で掲げた調整後営業利益率20%超を見込む。営業利益は、額・率ともに過去最高を見込む
- 3** 当期利益*： 過去最高の1,720億円、EPSは前期比50%増の135円となる見通し

(単位：億円)	2023年3月期 5月11日公表見通し	2023年3月期 最新見通し	増減	前回見通し比	為替影響調整後 前回見通し比
売上高	9,680	1 10,190	+510	+5%	0%
売上総利益 (売上総利益率)	6,465 (66.8%)	6,880 (67.5%)	+415	+6%	0%
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	4,455 (46.0%)	4,610 (45.2%)	+155	+3%	▲1%
その他の収益および費用など	50	40	-	-	-
営業利益 (営業利益率)	2,060 (21.3%)	2 2,310 (22.7%)	+250	+12%	0%
調整後営業利益 (調整後営業利益率)	2,020 (20.9%)	2,280 (22.4%)	+260	+13%	
税引前利益 (税引前利益率)	2,000 (20.7%)	2,250 (22.1%)			
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	1,540 (15.9%)	3 1,720 (16.9%)			
EPS	121円	135円			

2023年3月期配当
年間配当16円を予定

*親会社の所有者に帰属する当期利益。2016年3月期までは日本基準、2017年3月期以降はIFRS

通期業績見通し ②セグメント別業績

1 医療分野：

過去最高の売上高となる見込み

2 科学：

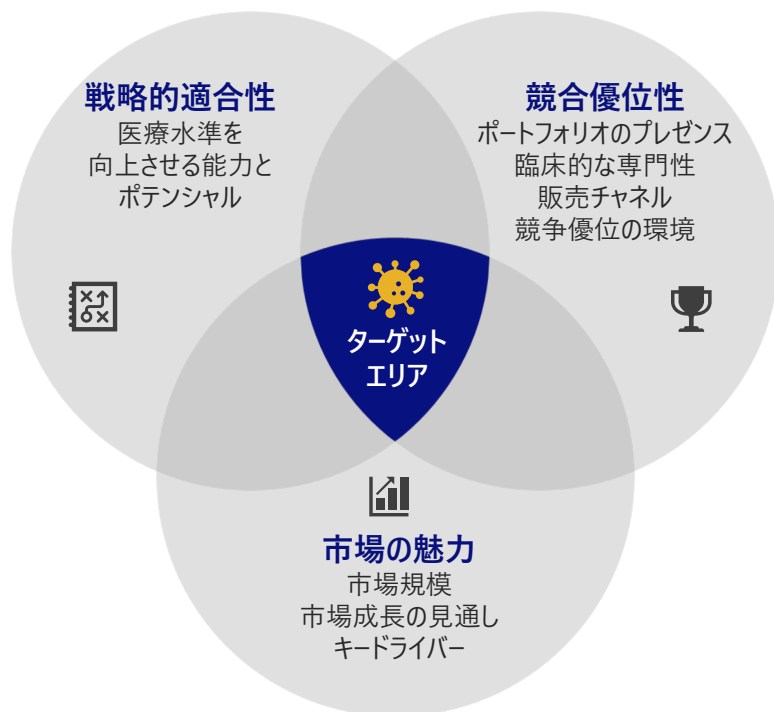
2Q以降、部品不足の解消に伴い、製品の出荷を進めることで通期見通しの達成に繋げる

(単位：億円)		2023年3月期 5月11日公表見通し	2023年3月期 最新見通し	増減	前回見通し比	為替影響調整後 前回見通し比	
内視鏡	売上高	5,090	1	5,360	+270	+5%	0%
	営業利益	1,560		1,740	+180	+12%	+1%
治療機器	売上高	3,100	1	3,270	+170	+5%	0%
	営業利益	695		755	+60	+9%	0%
科学	売上高	1,380	2	1,450	+70	+5%	0%
	営業利益	245		265	+20	+8%	▲6%
その他	売上高	110		110	-	-	▲2%
	営業損益	▲15		▲15	-	-	-
全社・消去	営業損益	▲425		▲435	▲10	▲10億円	▲3億円
連結合計	売上高	9,680		10,190	+510	+5%	0%
	営業利益	2,060		2,310	+250	+12%	0%

03

治療機器事業の成長ストーリー

当社が最大の力を発揮できる疾患に注力し、TSDは成長を目指す



治療領域

対象疾患

 消化器科処置具	<ul style="list-style-type: none"> 大腸がん 膵臓・胆道疾患 胃がん メタボリックシンドローム
 泌尿器科	<ul style="list-style-type: none"> BPH（前立腺肥大症） 結石治療 膀胱がん
 呼吸器科	<ul style="list-style-type: none"> 肺がん COPD（慢性閉塞性肺疾患）

差別化された製品、市場の専門知識、主要なステークホルダーと強い関係を有し、当社が最大の力を発揮できる疾患に注力することで医療水準の向上に貢献（例：重要なアンメットニーズへの対応、ゴールドスタンダードに代わる画期的なソリューションの導入）

消化器科処置具：市場での強力なポジションを活かし、医療水準の向上を図り且つ高い収益性を実現



3,000億～
3,500億円

5% - 7%年平均成長率
消化器科
処置具市場

市場ポジション：第2位	強固な基盤	現在の成長を牽引	今後の成長ドライバー
<p>成長を牽引する代表製品群</p> 	 <p>ガイドワイヤ</p>  <p>パピロトミーナイフ</p>	 <p>Dual Knife J™ (高周波ナイフ)</p>	 <p>EndoCuff™*</p>  <p>開発中 シングルユース胆道鏡*</p>
疾患/症例	ERCP ¹	ESD ²	大腸内視鏡検査 胆道内視鏡検査
<p>消化器内視鏡におけるNo.1ポジションを活用</p>			

*注：医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております。

**注：本スライドに掲載されている対象市場規模と成長率の予想の情報は、当社の調査によるもので、米国、欧州主要5か国（ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン）、日本、中国に関するものです。市場規模は2021年3月31日時点のものです。呼吸器科はVeran Medical Technologies社買収の影響を含みます。成長予想は、2021年3月期を起点として、2022年3月期から2024年3月期までの予想です。以下の他のスライドに掲載されている市場データについても同様です。

¹ ERCP：内視鏡的逆行性胆道膵管造影術（Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography）

² ESD：内視鏡的粘膜下層剥離術（Endoscopic Submucosal Dissection）

泌尿器科：手技プロセスと臨床結果を改善する 革新的なソリューションにより、高い収益性と力強い成長を実現



市場ポジション：第2位

強固な基盤

現在の成長を牽引

今後の成長ドライバー



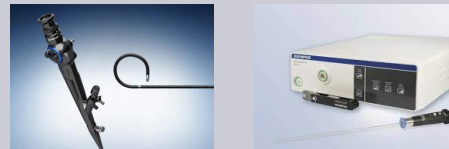
2,800億～
3,500億円

5% - 7%年平均成長率
泌尿器科市場

上部尿路
(腎臓、尿管、膀胱)



結石治療
1,800億円市場
(売上成長4%)



尿管鏡
結石破碎装置



Soltive SuperPulsed Laser System*
および結石治療をサポートする消耗品

開発中

シングルユース尿管鏡*

下部尿路
(膀胱、前立腺)



BPH1 + 膀胱がん
1,250億円市場
(売上成長10%)



膀胱内視鏡
経尿道的切除術をサポートする消耗品



経尿道的切除術をサポートするバイポーラTURP
システム (PLASMA+*)、バイポーラ電極

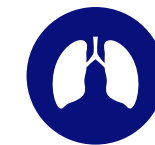


iTind™*
前立腺肥大症低侵襲治療デバイス

*注：医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております。

1 BPH：前立腺肥大症 (Benign Prostatic Hyperplasia)

呼吸器科：収益性の高い超音波気管支鏡と吸引生検針により、肺がんのステージングと診断において、市場をリードするソリューションを提供



市場ポジション：第2位

強固な基盤

現在の成長を牽引

今後の成長ドライバー



600億～
800億円
6% - 7%
年平均成長率
呼吸器科市場

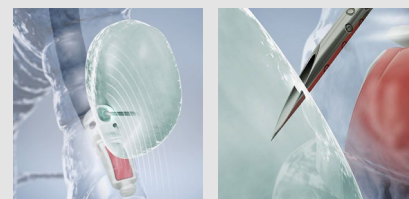
肺がん
ステージング + 診断



症例数成長率
1桁成長
がんによる死者数1位



EVIS X1含む
気管支鏡用プラットフォーム



EBUS：超音波気管支鏡と
ViziShot™ EBUS-TBNA¹吸引生検針



SPiN™電磁ナビゲーションシステム*
シングルユース気管支鏡の幅広いラインアップ

*注：医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております。

¹ Endobronchial ultrasound transbronchial needle aspiration

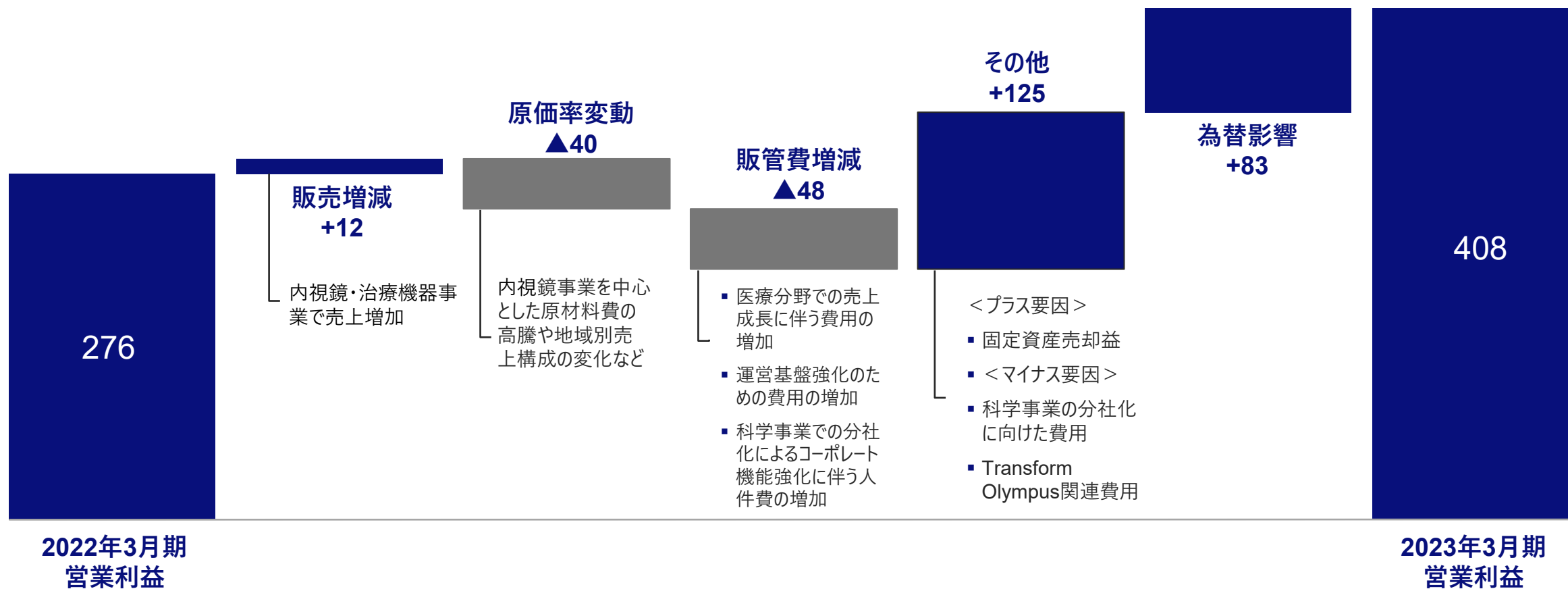
OLYMPUS

A thick, yellow, brushstroke-style underline that tapers at both ends, positioned directly beneath the word "OLYMPUS".

参考資料

2023年3月期 第1四半期実績 連結営業利益増減要因

第1四半期実績（4-6月）



(単位：億円) *その他には、決算短信に記載の「持分法による投資損益」、「その他収益」、「その他費用」が含まれています。

2023年3月期 第1四半期実績 セグメント別概況

第1四半期実績（4-6月）

(単位：億円)		2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	為替影響調整後
内視鏡	売上高	1,000	1,169	+17%	+5%
	営業利益	227	248	+10%	▲16%
治療機器	売上高	636	724	+14%	+2%
	営業利益	141	134	▲5%	▲24%
科学	売上高	248	219	▲12%	▲21%
	営業損益	19	▲16	▲35億円	▲39億円
その他	売上高	30	29	▲4%	▲6%
	営業損益	▲6	▲3	+3億円	+3億円
全社・消去	営業損益	▲104	45	+149億円	+153億円
連結合計	売上高	1,915	2,141	+12%	0%
	営業利益	276	408	+48%	+18%

連結キャッシュフロー 増減要因

FCF ▲217 (調整後FCF* ▲203)

営業CF ▲269

投資CF +52



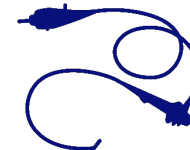
2022年3月末
現金および現金同
等物期末残高

*2023年3月期第1四半期（4-6月）の主な特殊要因

営業CF：科学事業再編に伴う税金支出	178億円
投資CF：固定資産（土地）の売却による収入	191億円
投資CF：イベントの事業開始に伴う投資・一時的な資金負担	27億円

2022年6月末
現金および現金同
等物期末残高

プロダクトパイプライン：内視鏡事業 (2022年8月9日時点)



2023年3月期の内視鏡事業における重点施策

- 欧州、日本、アジア一部地域において、消化器内視鏡システム「EVIS X1」を拡販
- 米国は2023年3月期に「EVIS X1」を導入することを目指し、中国は導入準備を進める
- 欧州、日本で次世代超音波内視鏡システムの導入を準備
- 新興国の市場ポテンシャルを最大化し、中国では売上を拡大
- 外科内視鏡分野においては、次世代外科内視鏡システムの導入を準備し、収益性を改善

現在の主力製品

消化器内視鏡

- EVIS X1 (欧州、日本、アジア・オセアニア)
- EVIS EXERA III (米国、欧州)
- EVIS LUCERA ELITE (中国)

外科内視鏡

- VISERA ELITE II 2D/3D/IR機能 (欧州、日本)
- VISERA ELITE II 2D (米国)
- VISERA ELITE (中国)
- VISERA 4K UHD (米国、欧州、日本、中国)

直近の新製品 / 発売予定の製品

消化器内視鏡

- EVIS X1 (米国)
- 次世代超音波内視鏡システム (欧州、日本)

外科内視鏡

- VISERA ELITE II 3D/IR機能 (米国)
- VISERA ELITE II 2D/3D/IR機能 (中国)
- 次世代外科内視鏡システム (欧州、日本)

中長期のパイプライン

消化器内視鏡

- EVIS X1 (中国)
- シングルユース十二指腸内視鏡
- 内視鏡CADプラットフォーム ENDO-AID (日本、米国)

外科内視鏡

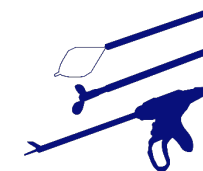
- 次世代外科内視鏡システム (米国)

16%

2023年3月期 売上高成長率¹

¹ 円ベースの成長率

プロダクトパイプライン：治療機器事業 (2022年8月9日時点)



2023年3月期の治療機器事業における重点施策

消化器科

- ERCP、ESD、メタルステント、止血デバイス など主要カテゴリにおいて、臨床的に差別化された製品ポートフォリオを拡充

泌尿器科

- 主力製品の経尿道的切除術をサポートするTURisシステムの売上および利益の拡大に加えて、iTindの市場開拓を通じて前立腺肥大の分野で業界をリード
- SOLTIVE SuperPulsed Laser System により、結石破碎治療における成長を拡大

呼吸器科

- 気管支鏡における次世代プラットフォーム「EVIS X1」を米国で発売
- Veran Medical technologies社の統合による肺がん分野におけるソリューション拡大を通じて成長を加速

現在の主力製品

消化器科

- Visiglide
- ESD Knife
- EZ Clip / QuickClip Pro
- EndoJaw

泌尿器科

- 前立腺肥大症治療用切除デバイス
- ツリウムファイバーレーザー装置 SOLTIVE SuperPulsed Laser System (米国、欧州)

呼吸器科

- 気管支鏡、超音波気管支鏡
- ViziShot
- スパイレーションバルブシステム

直近の新製品 / 発売予定の製品

消化器科

- 4製品 (米国)
- 4製品 (欧州)
- 4製品 (日本)
- 3製品 (中国)

泌尿器科

- 前立腺肥大症低侵襲治療デバイス iTind (米国、欧州)

呼吸器科

- 電磁ナビゲーションシステム (米国)
- シングルユース気管支鏡 (米国)
- 超音波気管支鏡 (米国)
- EVIS X1 気管支鏡 (米国)

中長期のパイプライン

消化器科

- シングルユース胆道鏡

泌尿器科

- シングルユース尿管鏡

呼吸器科

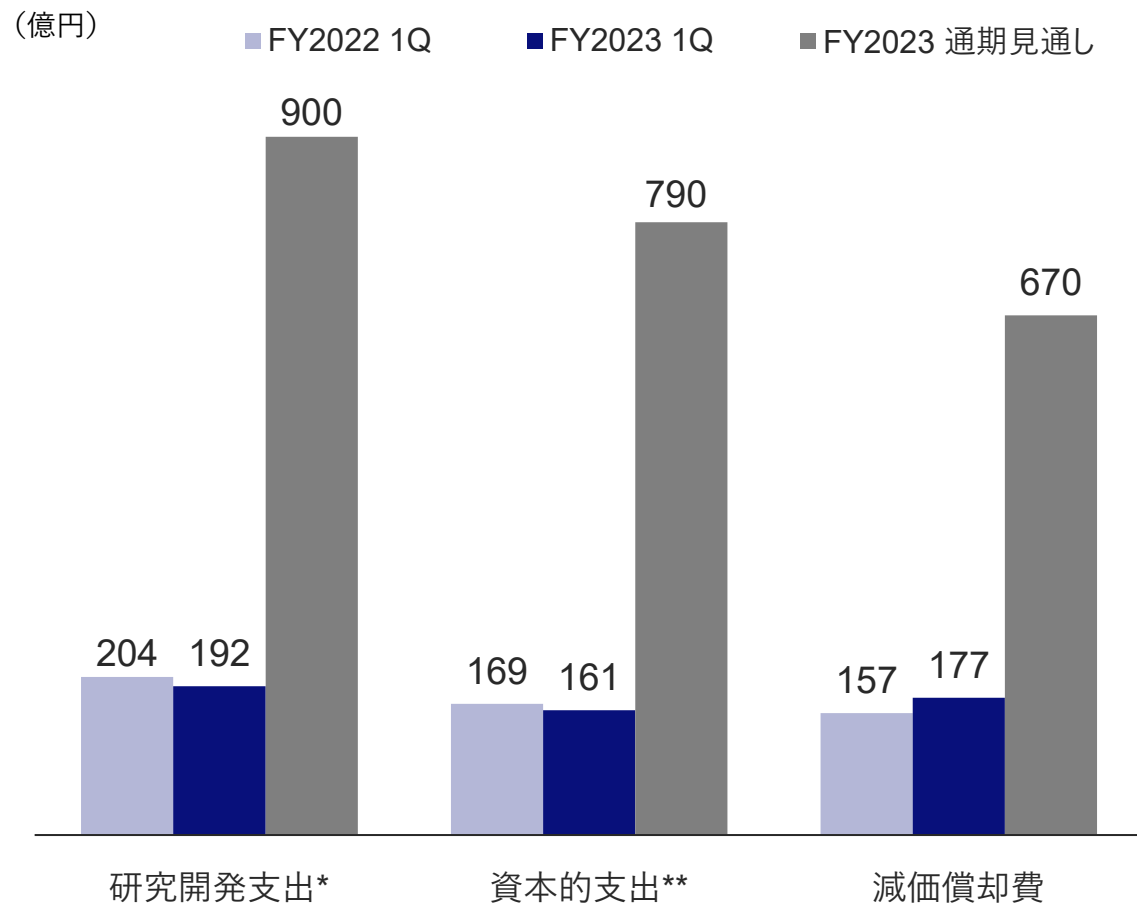
- 電磁ナビゲーションシステム (欧州)
- シングルユース気管支鏡

*注：医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております
1 円ベースの成長率

19%

2023年3月期 売上高成長率¹

第1四半期実績（4-6月）および通期見通し



(単位：億円)	FY2022	FY2023
研究開発支出* (a)	204	192
開発費資産化 (b)	38	24
損益計算書上における 研究開発費 (a-b)	166	168

(単位：億円)	FY2022	FY2023
償却費	22	23
	2022年3月末	2022年6月末
開発資産残高	620	634

*研究開発支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています。／**資本的支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています。また、2021年3月期よりIFRS第16号「リース」を適用し、資本的支出には下記使用権資産が含まれています。
(FY2022 1Q：38億円、FY2023 1Q：50億円、FY2023 見通し：70億円)

為替レート及び為替感応度

通期見通しの前提となる為替レートは、直近1ヵ月間の平均値を原則としている

為替

(単位：円)	FY2022 1Q	FY2023 1Q	前回見通し	FY2023 最新見通し
円／USドル	109.49	129.57	123	134
円／Euro	131.96	138.12	135	140
円／CNY	16.96	19.58	19	20

為替感応度（年間）

(単位：億円)	売上高	営業利益
ドル（1円あたり）	30	15
ユーロ（1円あたり）	18	8
人民元（1円あたり）	70	48